

自衛官とは

自衛官は特別職の国家公務員としての身分が保証されており、給与、保険など安定した処遇・福利厚生のもと、目標に向かって邁進することができます。また、一言で自衛官といっても、それぞれの役割に応じて階級が異なります。

幹部自衛官 …… 組織のリーダーとなる自衛官

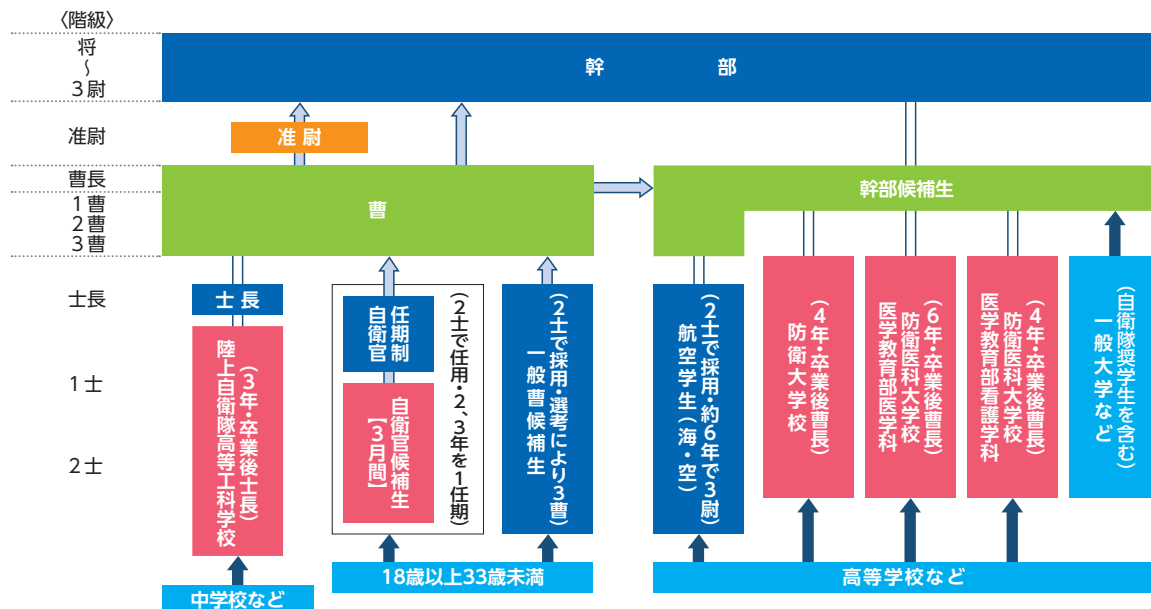
准曹士自衛官 …… 各部隊の中核となる自衛官

予備自衛官・即応予備自衛官 …… 招集命令に応じて自衛官となり、任務にあたる非常勤の特別職国家公務員

階級章

共通呼称	陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊
幹部自衛官	☆☆☆☆ 陸上幕僚長	海上幕僚長	☆☆☆☆ 航空幕僚長
	☆☆☆ 陸 将	海 将	☆☆☆ 空 将
	☆☆ 陸将補	海将補	☆☆ 空将補
	1等陸佐	1等海佐	1等空佐
	2等陸佐	2等海佐	2等空佐
	3等陸佐	3等海佐	3等空佐
	1等陸尉	1等海尉	1等空尉
	2等陸尉	2等海尉	2等空尉
	3等陸尉	3等海尉	3等空尉
准曹士自衛官	准陸尉	准海尉	准空尉
	陸曹長	海曹長	空曹長
	1等陸曹	1等海曹	1等空曹
	2等陸曹	2等海曹	2等空曹
	3等陸曹	3等海曹	3等空曹
	陸士長	海士長	空士長
	1等陸士	1等海士	1等空士
	2等陸士	2等海士	2等空士

【凡例】
 ←：試験または選考
 →：採用試験
 □：課程修了後任命



主要装備品の紹介

陸上自衛隊の装備品



12式地対艦誘導弾



〈諸元、性能〉

【誘導弾】全長約5.0m 直径約35cm 重量700kg

〈概説〉

対上陸戦闘に際して、洋上の艦船などを撃破する
国産の対艦誘導弾

03式中距離地対空誘導弾(改善型)



〈諸元、性能〉

【誘導弾】全長約4.9m 直径約28cm 重量454kg

〈概説〉

方面隊の作戦地域、重要地域などにおける部隊、施設を掩護する
国産の対空誘導弾

V-22 (オスプレイ)



〈諸元、性能〉

乗員3名+24名
航続距離約2,600km
全幅15.5m 全長17.5m 全高6.7m
最大速度約280kt

〈概説〉

飛行速度、航続距離および飛行高度の性能に優れ、滑走路のない離島においても離着陸可能であることから、島嶼への侵攻対処のみならず、災害救援や離島の急患輸送にも活用

ネットワーク電子戦システム



〈概説〉

電波の収集・分析および通信の無力化により、作戦を有利にする装置

16式機動戦闘車



〈諸元、性能〉

乗員4名 全幅約3.0m
全長約8.5m 全高約2.9m
最高速度約100km/h
105mm施線砲 12.7mm重機関銃
74式車載7.62mm機関銃

〈概説〉

空輸性および路上機動性に優れ、軽戦車などを撃破する装輪式の国産装甲戦闘車

19式装輪自走155mmりゅう弾砲



〈諸元、性能〉

全幅約2.5m
全長約11.2m
全高約3.4m
最高速度90km/h以上
155mmりゅう弾砲

〈概説〉

各種事態において迅速かつ機動的な運用が可能な自走りゅう弾砲

写真は試作品

10式戦車



〈諸元、性能〉

乗員3名 全幅3.2m
全長9.4m 全高2.3m
最高速度約70km/h
120mm滑腔砲 12.7mm重機関銃
74式車載7.62mm機関銃

〈概説〉

対機甲戦闘・機動打撃などで使用する国産戦車。C4I(指揮・統制・通信・コンピューター・情報)機能が特徴

水陸両用車(人員輸送型)



〈諸元、性能〉

全幅3.3m 全長8.2m
全高3.3m
12.7mm重機関銃
40mm自動てき弾銃

〈概説〉

海上機動性および防護性に優れ、島嶼部へ海上からの部隊などを投入する装軌式の水陸両用車両

UAV (中域用)



〈諸元、性能〉

全幅3.1m
全長1.7m
可視および赤外線カメラ搭載

〈概説〉

遠距離から艦艇・車両などの情報収集が可能

UH-2多用途ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員2名+11名
全幅2.9m
全長13.1m
全高3.7m
最大速度約130kt

〈概説〉

UH-1Jの後継機として人員輸送や物資輸送など、部隊の迅速な展開が可能

■ 海上自衛隊の装備品



いずも型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量19,950t 乗員約470名
 長さ248m 幅38m 深さ23.5m 速力30kt
 高性能20mm機関砲 SeaRAM 魚雷防御装置
 〈概説〉
 統合運用や災害派遣時の司令塔的役割など
 多用途な任務に対応するヘリコプター搭載
 型護衛艦

P-1 哨戒機



〈諸元、性能〉
 乗員11名 最大速度約450kt
 全幅35.4m 全長38.0m 全高12.1m
 〈概説〉
 警戒監視、対潜水艦戦や捜索・救難などの
 幅広い任務に従事する国産の主力固定翼哨
 戒機

たいげい型潜水艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量3,000t 乗員約70名
 長さ84m 幅9.1m 深さ10.4m
 速力20kt
 〈概説〉
 リチウムイオン電池を搭載し、探知能力およ
 び被探知防止能力を大幅に向上した潜水艦

まや型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量8,200t 乗員約300名
 長さ170m 幅21.0m
 深さ12.0m 速力30kt
 高性能20mm機関砲
 VLS装置 魚雷発射管
 SSM装置 62口径5インチ砲
 哨戒ヘリコプター
 〈概説〉
 最新鋭のイージス護衛艦

もがみ型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量3,900t 乗員約90名
 長さ133m 幅16.3m
 深さ9.0m 速力30kt
 SeaRAM VLS装置 SSM装置
 62口径5インチ砲
 簡易型機雷敷設置
 〈概説〉
 船体のコンパクト化、省人化も
 実現した護衛艦

あわじ型掃海艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量690t 乗員約50名
 長さ67m 幅11m
 深さ5.2m 速力14kt
 20ミリ遠隔管制機関砲
 掃海装置一式
 〈概説〉
 高い機雷搜索能力を保有する掃
 海艦

おおすみ型輸送艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量8,900t 乗員約135名
 長さ178m 幅25.8m
 深さ17.0m 速力22kt
 高性能20mm機関砲
 輸送用エアクッション艇
 〈概説〉
 被災者に対する医療、補給設備
 などを設置しており、多面的な
 活用が可能な輸送艦

砕氷艦「しらせ」



〈諸元、性能〉
 基準排水量12,650t
 乗員約175名
 長さ138m 幅28m
 深さ15.9m 速力19kt
 観測隊員約80名
 大型ヘリコプター
 〈概説〉
 南極観測の支援を任務とし、4
 代目となる砕氷艦

ましゅう型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量13,500t
 乗員約145名
 長さ221m 幅27.0m
 深さ18.0m
 速力24kt 洋上補給装置
 補給品艦内移送装置
 〈概説〉
 補給能力が大幅に向上した補給
 艦

US-2 救難飛行艇



〈諸元、性能〉
 乗員11名
 最大速度約320kt
 全幅33.2m 全長33.3m
 全高9.8m
 〈概説〉
 波高3mの洋上でも離着水可能
 であり、洋上での救難に従事す
 る救難飛行艇

SH-60L 哨戒ヘリコプター



〈諸元、性能〉
 乗員4名
 最大速度約140kt
 全幅4.4m 全長15.9m
 全高3.9m
 〈概説〉
 護衛艦に搭載し、護衛艦と共に
 多様な任務に従事する主力哨戒
 ヘリコプター

■ 航空自衛隊の装備品



F-35A 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名 最大速度マッハ約1.6
全幅10.7m 全長15.6m 全高4.4m
25mm機関砲 空対空ミサイル

〈概説〉

高いステルス性能のほか、これまでの戦闘機から格段に進化したシステムを有する最新鋭の戦闘機

RQ-4B(グローバルホーク)



〈諸元、性能〉

全幅39.9m 全長14.5m 全高4.7m
航続時間約36時間 最大速度約310kt
最大高度約60,000ft

〈概説〉

各種センサーによって、夜間や悪天候下でも地上の静止目標の情報収集可能な能力を有する無操縦者航空機

F-15 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名/2名 最大速度マッハ約2.5
全幅13.1m 全長19.4m
全高5.6m 20mm機関砲
空対空ミサイル

〈概説〉

優れた運動性能を誇る空自の主力戦闘機であり、国籍不明機への緊急発進など、空の守りを担う

F-2 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名/2名 最大速度マッハ約2.0
全幅11.1m 全長15.5m
全高5.0m 20mm機関砲
空対空ミサイル
空対艦ミサイル

〈概説〉

日米で共同開発され、優れた技術が結集されている戦闘機

C-2 輸送機



〈諸元、性能〉

乗員2~5名+110名 最大速度マッハ約0.82
全幅44.4m 全長43.9m
全高14.2m 航続距離約7,600km (20t搭載時)

〈概説〉

戦術輸送能力の強化、国際平和協力活動などへの積極的な取組のため開発された国産輸送機

UH-60J 救難ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員5名 最大速度約140kt
航続距離約1,300km
全幅5.4m 全長15.7m
全高3.8m

〈概説〉

遭難者を救助する救難ヘリコプター。右前方下部に空中受油装置を装備

KC-46A 空中給油・輸送機



〈諸元、性能〉

乗員3~14名+104名 最大速度マッハ約0.86
航続距離約9,400km(20t搭載時)
全幅47.6m 全長50.4m
全高16.1m

〈概説〉

ボーイング767型機を開発母機とした最新の空中給油・輸送機

E-767 早期警戒管制機



〈諸元、性能〉

乗員20名 最大速度約450kt
航続距離約9,000km
全幅47.6m 全長48.5m
全高16.0m

〈概説〉

速度性能や航続性能に優れる早期警戒管制機

J/FPS-7 警戒管制レーダー



〈概説〉

航空機などの従来型の脅威と弾道ミサイルの双方に対応可能な固定式警戒管制レーダー

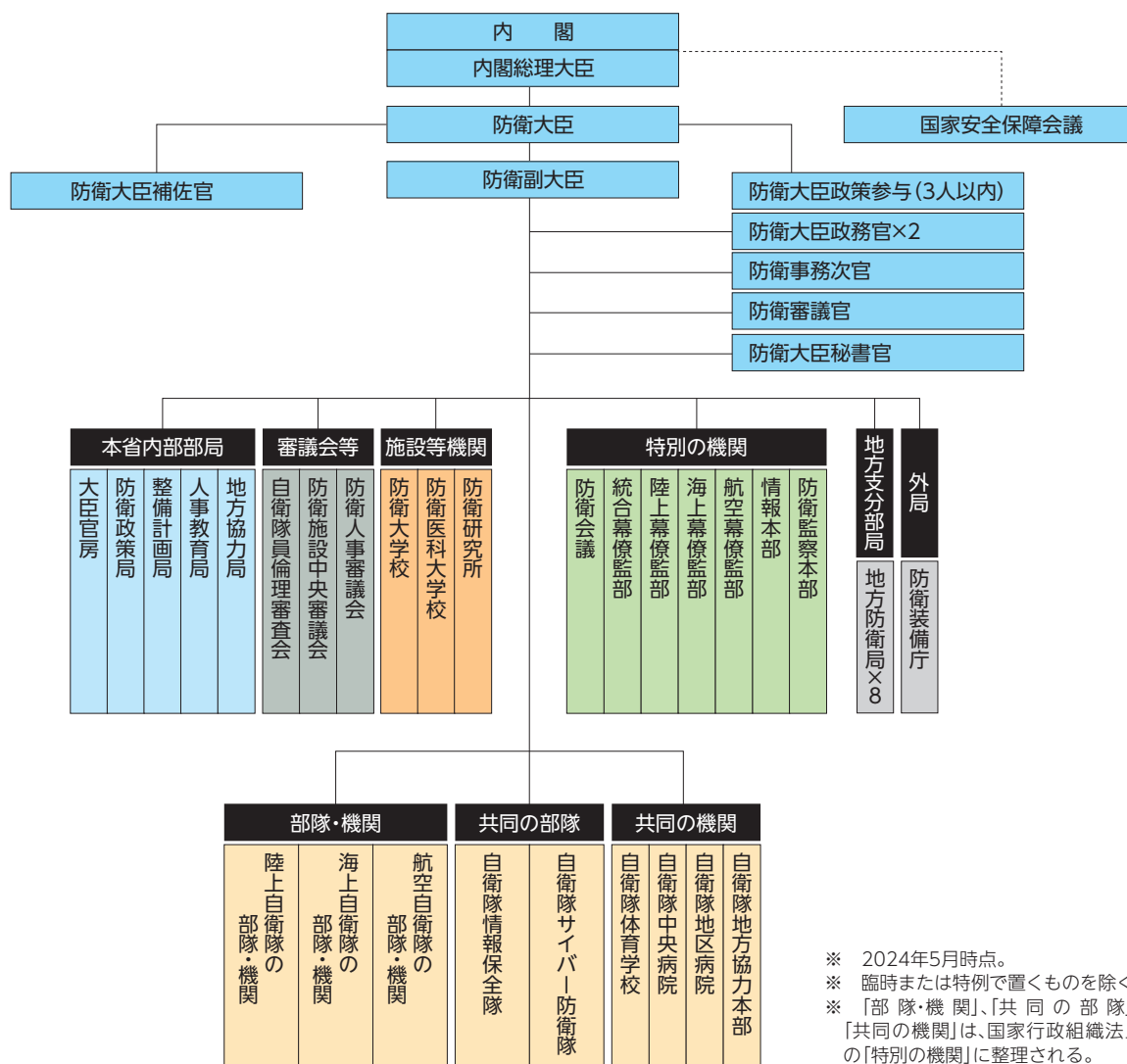
パトリオットPAC-3 地対空誘導弾



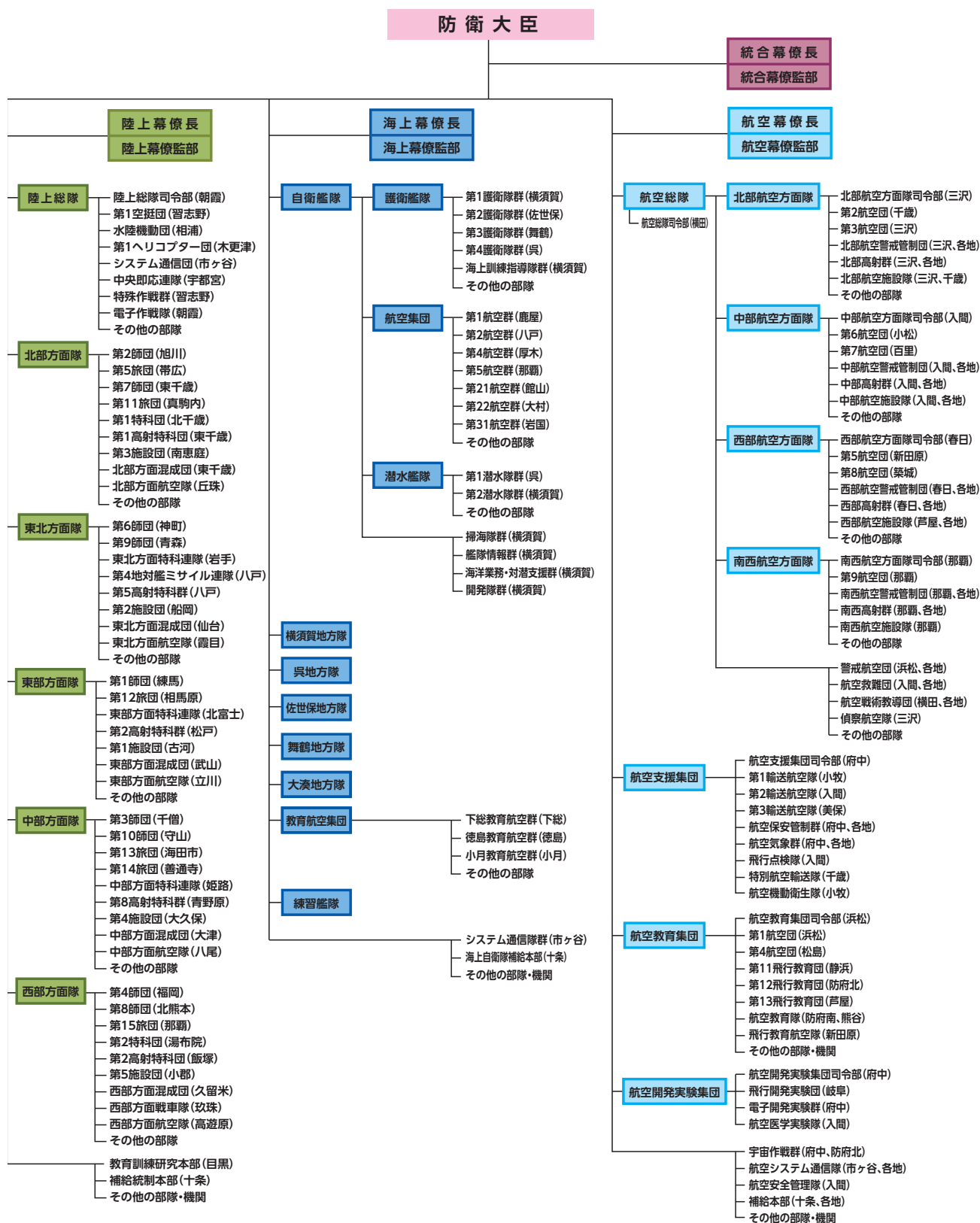
〈概説〉

弾道ミサイル防衛の下層迎撃を担う地対空誘導弾であり、弾道ミサイル発射事象に際しては、適所に展開して対応する。

防衛省・自衛隊の組織図



陸・海・空自衛隊の編成



主要部隊などの所在地（イメージ）（2023年度末現在）



主な広報施設のご案内



市ヶ谷台ツアー（※要予約）

見学概要

防衛省の心臓部とも言える市ヶ谷地区の見学ツアーです。市ヶ谷地区に所在する庁舎や極東国際軍事裁判の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館や大本営地下壕跡などをご案内します。

見学時間 ①09:30～11:30（午前） ②13:30～15:50（午後）

開催日 平日のみ **料金** 午前（無料）、午後（700円 ※18歳未満は無料）

駐車場 なし（お車でのご来場はご遠慮ください。）

所在地 〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1

ご予約・お問い合わせ 記念館係：03（3268）3111（内線：21904）



陸上自衛隊広報センター りっくんランド

見学概要

災害派遣や国際平和協力活動など分かりやすく紹介。多数の装備品を館内・屋外に展示しています。操縦を疑似体験できるシミュレーター、90式戦車や操縦席に座って写真が撮れるなど、お子様から大人まで楽しめる、見て、触れて、体感できる施設です。

開館時間 ①09:30～11:45（午前） ②13:15～16:45（午後）

休館日 月曜日、火曜日（祝祭日の場合は翌日）、年末年始

料金 無料 **駐車場** あり（無料）

所在地・交通 〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町

お問い合わせ 03（3924）4176



海上自衛隊呉史料館 てつのくじら館

見学概要

海上自衛隊の歴史や、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介しています。魚雷や掃海艇などの装備品や、機雷を除去する掃海作業の様子も必見です。また、実物の潜水艦を屋外に展示し、ふれあひながら見学することができる貴重な史料館です。

開館時間 10:00～18:00（最終入館17:30）

休館日 火曜日（祝祭日の場合は翌日）、年末年始

料金 無料 **駐車場** なし（HPをご確認ください。）

所在地 〒737-0029 広島県呉市宝町5番32号

お問い合わせ 0823（21）6111



航空自衛隊浜松広報館 エアパーク

見学概要

「見て体験して楽しむ」をコンセプトとし、歴代ブルーインパルスなど多数の航空機の実物が展示されています。また、パイロット訓練生と同じ飛行コースを体験できるシミュレーションなど、大空を飛びパイロット気分を心ゆくまで満喫することができます。

開館時間 09:00～16:00

休館日 月曜日（祝祭日の場合は翌日）、毎月最終火曜日、3月第2週の火曜日～木曜日、年末年始（HPをご確認ください。）

料金 無料 **駐車場** あり（無料）

所在地 〒432-8551 静岡県浜松市中央区西山町

お問い合わせ 053（472）1121



防衛大学校ツアー（※要予約）

見学概要

帽子投げで有名な記念講堂、本校の歴史が一目でわかる資料館、学生が生活する学生舎（外観）、防大グッズが購入できる学生会館などをご案内します。水曜日の見学では、「学生の行進」がご覧になります。（都合により行わない場合もあります）

見学時間 12:30～14:40

開催日 平日の月曜日、水曜日、金曜日

料金 無料 **駐車場** 事前にお問合せください。

所在地 〒239-8686 神奈川県横浜須賀野市走水1-10-20

ご予約・お問い合わせ 広報ツアー係：046（841）3810（内線：2019）

jndatour@nda.mod.go.jp





令和6年度自衛官等採用案内



種 目	採用人員	資 格	受付期間 (締切日必着)	試験 期 日	合格発表	入隊時期 (入校時期)	待遇・その他
幹 部 候 補 生	一 般 参考(令和5年度) 陸 約230名 (うち女子約40名) 海 約111名 (うち女子約22名) 空 約84名 (男女の区分なし) ※1	22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込)者、修士課程修了者等(見込)は28歳未満の者)	①3月1日～4月12日 ②4月24日～6月13日 ③(一般) 8月26日～9月26日	①1次:4月20日・21日 (4月21日は海・空飛行要員のみのみ) 2次:5月24日～30日 3次:6月20日～24日 (空):7月13日～8月1日 ②1次:6月22日 2次:7月30日～8月5日 ③1次:10月5日 2次:11月8日～11日	①1次:5月17日 2次(海・空飛行要員のみのみ):6月13日 (空):6月17日 最終: (陸):7月4日 (海):7月11日 (空):8月22日 ②1次:7月18日 最終:9月19日 ③1次:10月31日 最終:12月23日	令和7年3月中旬 ～4月上旬	入隊後約1年で 3等陸・海・空尉 (陸卒者試験合格者は 2等陸・海・空尉)
	歯 科 薬 剤 科 参考(令和5年度) 陸 約13名 海 約12名 空 約6名 ※1	専門の大卒(見込)者 (歯科は20歳以上28歳未満の者※2)	※3	①1次:4月20日 2次:5月24日～5月30日 ②1次:6月22日 2次:7月30日～8月5日	①1次:5月17日 最終: (陸):7月4日 (海):7月11日 ②1次:7月18日 最終:9月19日		歯科は入隊後約6週間で2等陸・海・空尉 薬剤科は入隊後約1年で2等陸・海・空尉
医 科 ・ 歯 科 幹 部	参考(令和5年度) 陸 約4名 海 約5名 空 約3名 ※1	医師・歯科医師の免許取得者	①2月1日～6月6日 ②7月30日～10月24日 ※3	①6月21日 ②11月15日	①7月25日 ②12月19日	①令和6年9月下旬 ～10月上旬 ②令和7年3月下旬 ～4月上旬	2等陸・海・空尉以上で採用(経験年数等により異なります。)
キ ャ リ ア 採 用 幹 部	令和6年度新規 陸 若干名 海 約20名 空 約20名 ①約20名 ②約20名 ※1	大卒以上の者で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	①3月1日～5月17日 ②(陸・空)キャリア採用採用 8月1日～10月11日	①(陸):6月10日 (海):6月17日 (空):6月17日～19日 ②(陸):11月1日 (空):10月30日～11月1日	①7月25日 ②12月16日	(陸)令和7年4月上旬頃 (海)令和6年9月下旬頃 (空)①令和6年10月上旬頃 ②令和7年3月下旬 ～4月上旬頃	3等陸・海・空尉以上で採用(経験年数等により異なります。)
技 術 曹	令和6年度新規 陸 約15名 海 約30名 空 約20名 ※1	20歳以上の者で国家免許資格取得者等	①3月1日～5月17日 ②(技術空曹) 9月20日～11月15日	①(陸):6月7日 (海):6月14日 (空):6月12日～14日 ②(空):12月4日～6日	①7月25日 ②令和7年1月17日	(陸)令和6年10月上旬頃 (海)令和6年9月下旬頃 (空)①令和6年11月下旬頃 ②令和7年3月下旬 ～4月上旬頃	3等陸・海・空曹以上で採用(免許資格、年齢等により異なります。)
航 空 学 生	参考(令和5年度) 海 約74名 (女子若干名) 空 約72名 (男女の区分なし) ※1	海:18歳以上23歳未満の者(高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者) 空:18歳以上24歳未満の者(高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者)	7月1日～9月5日	1次:9月16日 2次:10月12日～17日 3次:(海)11月15日～12月11日 (空)11月9日～12月12日	1次:10月4日 2次:(海)11月6日 (空)10月31日 最終:令和7年1月20日	令和7年3月下旬 ～4月上旬	入隊後約6年で 3等海・空尉
一 般 曹 候 補 生	参考(令和5年度) 陸 約4,200名 (うち女子約500名) 海 約1,630名 (うち女子約250名) 空 約1,400名 (男女の区分なし) ※1	18歳以上33歳未満の者(32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	①3月1日～5月7日 ②7月1日～9月3日 ③10月1日～11月28日 ※4	①1次:5月17日～26日 2次:6月15日～30日 ②1次:9月14日～22日 2次:10月12日～27日 ③1次:12月7日～12日 2次:令和7年1月6日～13日 ※いずれか1日を指定されます。 ※5	①1次:6月6日 最終:7月18日 ②1次:10月3日 最終:11月21日 ③1次:12月23日 最終:令和7年1月30日	令和7年3月下旬 ～4月上旬 ※上記の他に設定する場合があります。	入隊後2年9か月経過以降降進等により3等陸・海・空曹
自 衛 官 候 補 生	参考(令和5年度) 男 子 陸 約5,000名 海 約1,000名 空 約1,700名 女 子 陸 約750名 海 約200名 空 約600名 ※1	18歳以上33歳未満の者(32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	年間を通じて行っております。	受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。 ※5	試験時にお知らせします。	令和7年3月下旬 ～4月上旬 ※上記の他に設定する場合があります。	所要の教育を経て、3か月後に2等陸・海・空士に任用 陸上(技術系を除く)は1年9か月、陸上(技術系)、海上、航空は2年9か月を1任期として任用(以降2年を1任期)
防衛大学校学生	推 薦 参考(令和5年度) 人文・社会科学専攻 約45名 (うち女子約20名) 理工学専攻 約145名 (うち女子約30名) ※1	18歳以上21歳未満の者(高卒(見込)者又は高専3年次修了(見込)者で成績優秀かつ社会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者)	9月5日～9日	9月21日・22日	10月25日		修学年限4年 卒業後約1年で 3等陸・海・空尉
	総 合 抜 選 参考(令和5年度) 人文・社会科学及び理工学専攻合わせて約50名 (うち女子約10名) ※1	18歳以上21歳未満の者(自衛官は23歳未満) 高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者	7月1日～10月17日	1次:9月21日 2次:10月26日・27日 ※いずれか1日を指定されます。	1次:10月11日 最終:11月20日 1次:11月20日 最終:12月27日	令和7年4月上旬	修学年限4年 卒業後約1年で 3等陸・海・空尉
防衛医科大学校医学科学学生	参考(令和5年度) 約85名 ※1	18歳以上21歳未満の者(高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者)	7月1日～10月9日	1次:10月19日 2次:12月11日～13日 ※いずれか1日を指定されます。	1次:11月28日 最終:令和7年1月30日	令和7年4月上旬	修学年限6年 医師免許取得後、2等陸・海・空尉
防衛医科大学校看護学科学学生 (自衛官候補看護学生)	参考(令和5年度) 約75名 ※1	18歳以上21歳未満の者(高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者)	7月1日～10月2日	1次:10月12日 2次:11月23日・24日 ※いずれか1日を指定されます。	1次:11月7日 最終:令和7年2月4日	令和7年4月上旬	修学年限4年 看護師免許取得後卒業後約1年で3等陸・海・空尉
陸上自衛隊高等工科学学校生徒	推 薦 参考(令和5年度) 約120名 ※1	男子で中卒(見込)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	10月1日～11月29日	令和7年1月11日～13日 ※いずれか1日を指定されます。	令和7年1月23日		修学年限3年 卒業後は陸士長 卒業後約1年で3等陸曹
	一 般 参考(令和5年度) 約230名 ※1	男子で中卒(見込)17歳未満の者	10月1日～ 令和7年1月16日	1次:令和7年1月25日・26日 2次:令和7年2月13日～16日 ※いずれか1日を指定されます。	1次:令和7年2月6日 最終:令和7年2月28日	令和7年4月上旬	
自 衛 隊 奨 学 生	参考(令和5年度) 陸 約20名 海 約20名 空 約20名 ※1	大学、大学院、高等専門学校等で理工学・文学又は法学※6を専攻しており、正規の課程を終了する年の4月1日現在で28歳未満(大学院在学者は28歳未満)	①6月3日～10月11日 ②12月2日～ 令和7年1月31日 ※3	①11月4日 ②令和7年2月22日	①令和7年1月31日 ②令和7年5月16日	①自衛隊奨学生採用時期は4月上旬 ②自衛隊奨学生採用時期は5月 ※幹部候補生採用(入隊)時期は大学、大学院等を卒業(修了)する年の4月上旬	自衛隊奨学生として採用された4月又は5月から大学又は大学院の正規の修業年限を終る月まで毎月54,000円貸与されます。
予 備 自 衛 官 補	一 般 陸 約1,540名 海 約350名 空 約20名 ※1	18歳以上52歳未満の者	①1月22日～4月11日 ②6月1日～9月19日 ※3	①4月6日～21日 ②9月21日～10月7日 ※いずれか1日を指定されます。	①5月29日 ②11月7日	教育訓練の開始時期: ①令和6年7月以降 ②令和6年12月以降	階級は指定しない。 教育訓練指導手当 所定の教員加給7段階、予備自衛官として任用

- (注) 1. ※1: 令和6年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
2. ※2: ①: 学校教育法に基づく大学において、正規の業の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(令和7年3月卒業見込)
②: 外国の高等学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等の学力及び技能を有すると認定した者
③: 平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制業課程を修めて卒業し、かつ、学校教育法に基づく大学において、業の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(令和7年3月卒業見込)で定めるところにより、①に掲げる者と同等の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。
3. ※3: 採用予定人員数の採用が見込まれる場合は、第2回目以降の試験を実施しません。
4. ※4: 第1回及び第2回までで採用人員数を満たした場合は、第3回は実施しない場合があります。
5. ※5: 令和7年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、令和6年9月16日以降に行います。
6. ※6: 理工学、工学、文学又は法学に類する学部・学科も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせください。
7. 資格欄中の「高卒」は、高等学校卒業資格者を含みます。
8. 応募資格年齢の起算日は、提出書類に記載された生年月日とします。
9. その他、詳細については、各採用(募集)要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。(事務官・技官の採用試験については、防衛省大臣官房秘書課へお問い合わせください。)
10. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

＜ 自衛官募集ホームページ ＞ ＜ 自衛官募集X(旧ツイッター) ＞



防衛省・自衛隊 公式コンテンツのご案内



防衛省ホームページ ▶



防衛省公式アカウント ▶



◀ 防衛省公式アカウント



◀ 防衛省・自衛隊公式動画チャンネル



/@modchannel



防衛省公式アカウント ▶



その他の防衛省・自衛隊公式SNSは
こちらからチェック! ▶



各自衛隊・機関などのホームページ



<https://www.mod.go.jp/js/>



NIDS 防衛研究所
National Institute for Defense Studies

<http://www.nids.mod.go.jp/>



陸上自衛隊

<https://www.mod.go.jp/gsdf/>



情報本部

Defense Intelligence Headquarters

<https://www.mod.go.jp/dih/>



海上自衛隊

Japan Maritime Self-Defense Force

<https://www.mod.go.jp/msdf/>



防衛省 防衛監察本部
Inspector General's Office of legal compliance

<https://www.mod.go.jp/igo/>



航空自衛隊

Japan Air Self-Defense Force

<https://www.mod.go.jp/asdf/>



地方防衛局

<https://www.mod.go.jp/rdb/>



防衛大学校

National Defense Academy

<https://www.mod.go.jp/nda/>



防衛装備庁

Acquisition, Technology & Logistics Agency

<https://www.mod.go.jp/atla/>



防衛医科大学校

National Defense Medical College

<https://www.mod.go.jp/ndmc/>



自衛官募集

Japan Self-Defense Forces

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



陸上自衛隊

高等工科学学校

https://www.mod.go.jp/gsdf/yt_sch/



<https://www.mod.go.jp/j/publication/events/index.html>

まるわかり!

日本の防衛

はじめての防衛白書2024



小学校高学年、中学生、高校生のみなさんにも、防衛白書について
わかりやすく説明しています。大人の方にも、短い時間で防衛白書のお
おまかな内容が分かるのでおすすめです。

<https://www.mod.go.jp/j/kids/wp/index.html>